

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 5章13-16節 (新約聖書6頁)

13 「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。15 また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。16 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

地の塩、世の光

スポーツの試合を観戦していると、勝利者インタビューがあります。最初に監督、次に活躍した選手がインタビューを受けます。でも誰もが自分のことよりも、監督は選手たちを、活躍した選手は仲間をたたえます。そして家族や応援してくださった方々に感謝しています。

私は好んで映画を観ますが、毎年2月のアカデミー賞授賞式も楽しみです。司会者の軽妙な語り口、プレゼンターを務める名優の一言が印象深いです。そして受賞者がオスカーを手にしながら短いスピーチをします。時に差別されている人々への励ましや大統領への辛辣な批判もあります。しかし誰もが必ず制作現場を共にした仲間、支えてくれた家族、すでにこの世を去った人たちへ、時間の許す限り次々に彼らへ感謝の気持ちを伝えます。

活躍したスポーツ選手も、受賞した俳優も、人には言えない努力と失敗を重ねながら、本人しかわからない悔しさや喜び、そして達成感の中にあるのかもしれませんが。しかしそこには勝者がいれば敗者もいます。また受賞者もいれば、ノミネートで終わった人、全く候補にさえ挙げられなかった俳優たちも数え切れないほどいます。しかし誰もがプレーを

愛し、スクリーンを愛しているのではないのでしょうか。

イエスは他者から評価を受けられず、関心も寄せられなかった人に近づき愛されました。それは神様に造られた人の価値は優劣ではなく、人の存在そのものにあることを示すためでした。イエスが「あなたがたは地の塩、世の光である」とはつきり言われたのは、私たちの存在そのものが神様から愛されていること、そして何かを、誰かを愛することの素晴らしさ、尊さを伝えたかったからではないのでしょうか。

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、わたしたちを励まされる主よ。

あなたは「あなたがたは地の塩、世の光である」と言われました。わたしたちはあなたが共にいて下さるので地の塩であり、世の光です。どうか、今日一日も一切をあなたに委ね、御心に沿った道を歩ませて下さい。今、様々な理由によって就学、就労の困難な生徒、教職員のために祈ります。どうか主の慈愛を悟り、主の御前で共に感謝を献げる日をお与え下さい。主イエス・キリストの御名によってお願いいたします。アーメン